（様式２）

学　校　関　係　者　評　価　報　告　書

（愛媛県立小松高等学校）
学校番号（　11　）

評　価　実　施　日		令和5 年 2 月 14 日(火)		
	氏　　名	所　　属　　等		備　　考
委員	池内　　修	学校評議員	自治会役員	
	真鍋　　明	学校評議員	株式会社マルブン社長	
	戸田千鶴子	学校評議員	国際ソロプチミストいしづち会長	
	原田　直行	学校評議員	小松公民館長	
	曽我部研二	学校評議員	氷見交友会館長	
	宇野　嘉則	西条市立小松中学校長		
	川又　勇人	西条市立小松小学校長		
	香川　唯信	ＰＴＡ会長		
	戸田潤二郎	ＰＴＡ副会長		
	吉實　勇治	ＰＴＡ副会長		
	青野　裕美	ＰＴＡ副会長		

評　価　・　提　言　等	提言等に対する改善方策等
１　今年度の最終評価について	
(1)学習指導 普段から、生徒が学習に向かう意欲を持続させる取組がなされている。また、ICTの活用による授業改善の効果も見られる。 今後も、学ぶことの楽しさ（豊かさ）を生徒に実感させるようにし、生徒が更なる意欲を持って学習に取り組めるように学習指導方法の改善に努めて欲しい。	教員の更なる授業力向上を図るとともに、生徒一人一人に、学ぶことの意義を考えさせ、一生懸命学習に取り組む雰囲気を醸成したい。
(2)生徒指導 基本的な生活習慣の確立について、生徒との面談の機会を増やして、生徒一人一人の理解と指導に努めている。校内の美化や社会のルール、交通マナーの向上にも配慮し、きめ細かな指導が出来ている。 今後も、高校生として健全な生活が送れるよう、教職員全員が共通理解のもと指導に取り組んでもらいたい。	生徒との信頼関係を深め、心に響く指導を継続していき、次年度からも、更なる高い評価が得られるよう、継続して「地域とともにある学校」づくりに努めたい。
(3)進路指導 進路選択に向けた説明会やホームルームと「進路のしおり」等の進路関係の配布物は、進路の情報源として役立っていると生徒の評価が高く、特に１年生の評価が高い。 今後も、早い段階での進路に向けての「気づき」を生徒に感じさせ、生徒の得意分野の能力を伸ばし、進路実現に向けた継続的で段階的な指導をお願いしたい。	今後も、１年生の早い段階での進路に関する情報源を充実させる。 ２年生では、自分の進路につながる専門的な分野についてのインターンシップの充実を図るため、事前指導を丁寧に行って職業理解の機会を増やしていきたい。 ３年生では、進学達成率が２月の時点で100%になるよう次年度以降も継続して指導していきたい。

評　価　・　提　言　等	提言等に対する改善方策等
(4) 特別活動 　コロナ禍の中、運動会や文化祭等の学校行事が活発に行われている。また、家庭クラブ活動、生徒会活動、地域のボランティア活動等への参加によって、コミュニケーション能力の向上が図られ、地域との協働や豊かな心の育成にも力を入れている。 　今後も、多くの生徒が様々な体験を通して、人間力を高め合う集団づくりに努めていただきたい。	今後も、組織の一員としての自覚を高められるよう、部活動や生徒会活動、ボランティア活動等を計画し実践する。 　また、更なる生徒主体の学校行事運営を目指して、リーダーの育成に努めるとともに、多様な生徒の個に応じた活躍の場を増やす。
(5) 人権・同和教育、広報 　人権・同和教育の学習を通して、差別に気づき、差別を許さない姿勢を身につけさせており、日頃から計画的に系統的に行うだけでなく、より効果的な人権・同和教育の実践がなされている。	今後も保幼・小・中・高の連携を一層進め、地域全体の人権・同和教育の推進に努める。
ホームページが充実しており、生徒が様々な場面で活躍している様子が伺い知れる。 　今後、キャリア教育の一環として、中学生が高校生に学ぶ機会をつくる場面を設定して欲しい。また、小中高が連携した取組も検討して欲しい。	今後もホームページの拡充を図り、生徒の活躍の場を発信していきたい。 　異世代交流を通して、積極的に他者と関わり、相手を理解し尊重する心や思いやりの心を育てたい。
２　学校運営への提言 　学校評価アンケートの項目の中に、違和感がある部分があるので、改善に向けての主旨が叶うような設問にする等、アンケートの再考をお願いしたい。 　アンケート結果のまとめについても分かりやすくなるよう検討して欲しい。	生徒・保護者・教職員ともに全てのアンケート項目について、問い方を検討して、学校がより良くなるような材料となるようアンケートを改善したい。 　数値をグラフ化する等して、より分析結果が分かりやすいものにしたい。
高校再編計画が進む中、新たな魅力ある学校づくりを目指して、学校と地域が一丸となって進んでいくことを望む。	高校再編後の学校の在り方について、これからの３年間で準備員会を通して十分に協議して、生徒の進路保障を確実に行えるよう、また、特色ある学校づくりを目指して、地域と一体となるようにしていきたい。